

2017 年 4 月 1 日

ソーシャル・インベストメント・パートナーズ 放課後 NPO アフタースクールへの3年間の支援が終了 代表理事の平岩氏は、SIP の新アドバイザーに

一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ（所在地:東京都港区、代表理事:白石智哉、以下、「SIP」）は、公益財団法人日本財団（所在地:東京都港区、会長:笹川 陽平）と共同で運営する「日本ベンチャー・フィランソロピー基金」（以下「JVPF」）を通して、特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール（所在地:東京都港区、代表理事:平岩 国泰、以下「放課後 NPO」）へ 2013 年 12 月から総額 2,000 万円の資金提供および経営支援を実施してまいりましたが、2017 年 3 月 31 日をもって支援が終了しましたので、ご報告いたします。

放課後 NPO は、子どもの生きる力の低下、学童保育の質・量の不足を社会課題として捉え、「社会で子どもを育てる」をコンセプトに、小学生児童の放課後事業「アフタースクール」を提供しています。地域や企業の人材を「市民先生」として放課後の小学校に招き子どもに安全でより楽しい創造的な放課後プログラムを 2005 年から実施し、これまで首都圏を中心に 500 を超えるプログラムを開発し、135,000 人の子どもたちが参加しました。

放課後 NPO は JVPF の初めての支援先であり、資金提供に加え、ガバナンス体制の強化のために、SIP から白石代表理事、森本理事（当時アドバイザー）が放課後 NPO の理事に就任しました。また、ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン、クリフォード・チャンス法律事務所外国法共同事業、ボックスグローバル・ジャパン株式会社といったプロボノ・パートナーと共に、中期経営計画の策定、組織作りにおける規程の整備、広報戦略策定といった広範な経営支援をおこなってまいりました。

3 年間の支援期間を経て、放課後 NPO がアフタースクールを提供してきた学校の数は、支援開始当初の 3 校から、現在では後述の千葉市でのモデル校 10 校を含め 26 校に増加し、提供対象も当初の私立校のみから広がって 16 校は公立校となりました。当初の私立校のみならず公立校へアフタースクールを導入したことは、放課後 NPO の社会的インパクトの拡大に大きく貢献しました。現在ではプログラムを利用するアフタースクールの会員子ども数は当初の約 500 人から 3,500 人に増加しています。また、放課後 NPO が毎年行っている子どもの自己肯定感やコミュニケーション能力の向上などを測るアンケートでは、2015 年に「アフタースクールに行ってみてとても楽しい」と回答した子どもの割合が前年から 10 ポイント増加、「得意なことがある」、「いろいろな性格や他の学年の子と遊ぶ」と回答した子どもの割合がそれぞれ 4 ポイントと 8 ポイント増加しました。

新たな事業としては、2016 年 4 月から千葉市教育委員会から委託を受けモデル校 10 校に対してプログラム充実のためなどにノウハウ提供を行う「コーディネーター事業」を展開しており、2017 年 4 月からは同市の稲浜小学校で学童保育と放課後子供教室を一体で企画・運営する「新アフタースクール」を開始します。

なお、放課後 NPO への支援は終了しますが、平岩代表理事には、2017 年 4 月 1 日付けで SIP のアドバイザーに就任していただきます。今後は支援者の立場で、放課後 NPO の経営を通じて培った知識や経験を SIP 内で共有すると共に支援先へアドバイスをいただく予定です。

【平岩国泰氏 プロフィール】



放課後NPOアフタースクール 代表理事

1974 年東京都生まれ。1996 年慶應義塾大学経済学部卒業。株式会社丸井入社、人事、経営企画、海外事業などを担当。2004 年長女の誕生をきっかけに、“放課後 NPOアフタースクール”の活動開始。活動開始以降 “アフタースクール”には 5 万人以上の子どもが参加。グッドデザイン賞(3 回受賞)他各種受賞。2011 年会社を退職し、NPO法人に一本化。日本の子どもたちの「放課後からの教育改革」に挑む。2013 年より文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会委員。

平岩国泰氏からのコメント

「2013 年に私どもの団体を SIP 様にご支援いただいたことは、団体にとって大変大きなステップで、おかげさまでその間の成長の大変な原動力となりました。ご支援を受ける立場として学んだことや反省などをぜひ他団体様にご共有できればと思います、アドバイザーへの就任を引き受けさせていただきました。多くの団体がより社会にインパクトのある活動ができるように精一杯尽力させていただきます。」

一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズについて

2012 年 11 月、事業投資育成の専門家、社会的事業支援の経験者が共同で創業。

公益財団法人日本財団(所在地:東京都港区、会長:笹川 陽平)と共同で運営する「日本ベンチャー・フィランソロピー基金」を通して、資金提供と事業支援を実施。また設立趣旨に賛同するプロボノ・パートナー企業とも提携し、支援先に対して 3-5 年の中長期の視点から、専門的な経営資源を継続的に提供する。

支援先選定の際には、社会的インパクトの大きさ、事業の持続可能性、事業拡大の可能性、経営者の リーダーシップ、ミッション・ビジョンの共有を基準とし、「教育・若者の就労支援」、「育児支援・女性の活躍」、「地域コミュニティの活性化」といった次世代の育成に関わる分野における事業支援に取り組む。

《URL》 www.sipartners.org

《プロボノ・パートナー》

- | | |
|---------------------------|---------------|
| • クリフォード・チャンス法律事務所外国法共同事業 | — 法務アドバイス |
| • ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン | — 戦略コンサルティング |
| • ボックスグローバル・ジャパン株式会社 | — PR コンサルティング |

《事業支援実績》

- 特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール
- 認定特定非営利活動法人 Teach For Japan
- 株式会社 AsMama
- NPO 法人 発達わんぱく会

日本ベンチャー・フィランソロピー基金について

社会的事業を行う団体を支援し、持続的に発展させることを目的に 2013 年 4 月に設立された国内初の本格的なベンチャー・フィランソロピー(VP)基金。本基金は一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズと公益財団法人日本財団(所在地:東京都港区、会長:笹川 陽平)が共同運営している。

《URL》 <http://www.jvpf.jp/>

一般社団法人 ソーシャル・インベストメント・パートナーズ
〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目15-19 MG 目黒駅前 4階
ウェブサイト: www.sipartners.org
専務理事: 田淵 (03-4540-1577、info@sipartners.org)



公益財団法人日本財団について

ボートレースの収益金を財源として国内外の公益活動を支援することを目的に 1962 年に設立された公益財団法人。社会福祉・教育・文化などの活動、海や船にかかわる活動、海外における人道活動・人材育成の3つの分野を中心に助成を行う他、日本の NPO セクターの育成、寄付文化の醸成、企業の CSR 活動の推進などにも取り組んでいる。

《URL》 www.nippon-foundation.or.jp/

本プレス・リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ
専務理事: 田淵良敬 (03-4540-1577、info@sipartners.org)

ボックスグローバル・ジャパン株式会社
担当: 井土(イツチ) (03-6204-4358、yusuke.izuchi@voxglobalasia.com)